



国立二小 『1人1台端末（パソコン）』のルールについて（4～6年用）

令和8年6月1日

代表委員会

このルールは、学校にいる全員が安心・安全に classroom やインターネットを使い、学習するための約束です。パソコンは小学校6年間、自分専用で使う大切な道具です。パソコンの約束を担任の先生やクラスのみさんと必ず相談してから使いましょう。マナーを守って、よりよい学びの場をつくりましょう！

端末についてのルール

① 人のパソコンは許可なく触らない

一人ひとりのパソコンです。自分のパソコンで作業をしましょう。勝手に人のパソコンをとじたり、人のパソコンでいたずらをしたりするのは絶対にいけません。

・プレイグラムタイピング ・勇者タイピング
・キーボー島アドベンチャー ・寿司打
・ポップタイピング ・タイピングーZ は、除く

② 中・昼休みには先生の許可なく使わない

中昼休みに先生の許可無く使わないようにしましょう。クラブ・委員会・係活動などで必要な場合はのぞきます。指定外のサイトを使う場合は、先生に聞き、許可をもらいましょう。

③ 学習に関係あるか考えて、関係のあるものを使う

パソコンは、学習のために渡しています。おうちのパソコンやスマートフォンとは違います。学習に関係ないことには使いません。

④ 手提げなどケースに入れて、安全に持ち運ぶ

画面とキーボードが外れてしまうため、移動の時はパソコンを持ち運ぶときはパソコンケースまたは、手提げなどにいれるか、両手で抱えて持ち運びをします。また、タブレット状態での持ち運びや、作業しながらの移動はしません。

⑤ 整理整頓を常に心がける

パソコンを置く時にも気を付けます。水筒とパソコンを一緒に机の上に置きません。また、使わない時は机の上に出しっぱなしにはせず、机の横の手提げにしまいましょう。

SNS についてのルール

①自分のアカウントは誰にも教えない

アカウントの ID とパスワードを誰かに教えると、あなたのふりをする人が出てきます。あなたのふりをした人がやったことでも、全部あなたのせいになってしまいます。

②classroom のコードを教えない

教室に、違う学年やクラスの人が突然入ってきたら困りますね。classroom に勝手に誰かが入ってこないように絶対に教えないでください。

③個人情報インターネットに絶対にあげない

名前や住所、電話番号はインターネットに絶対にのせないでください。一度のせたら、完全に消すことはできません。悪用される場合もあります。友達や先生、家族の個人情報を絶対にのせないでください。1人がのせると、ネットで広がるのは一瞬です。プリントも動画も、どう使われるかは分かりません。

④classroom とドライブは特別なインターネット

classroom とドライブは、学習を便利にしたり、おうちの人に自分の頑張りを知らせたりするための特別なインターネットです。だから、個人情報を載せることができます。

classroom と他のインターネットの違いを確認しておきましょう。

⑤写真や動画は相手に許可をとってから撮影する

写真や動画を撮影する時には、相手に許可をとったり個人情報を確認したりしましょう。

⑥スクリーンショットもカメラや動画と同じように扱う

教室にカメラやビデオを持ってきて勝手に撮るのと同じことです。classroom やドライブには様々な情報が入っています。自分では気付かなくても大切な情報が写っている可能性があります。スクリーンショットをしてもいいか、先生に聞きましょう。

⑦他の人が作ったものを勝手に見せない・変えない・使わない

自分が作っていないものを勝手に他の人に見せたり、変えたりしません。

⑧インターネットを使う時も、相手のことを考えて使う

当たり前ですが、画面の向こうには人がいます。見えない相手のことを考えましょう。表情が伝わらないからこそ、自分が書いた言葉が相手にどう伝わるのかよく考えて使いましょう。

⑨ホーム画面やアイコンなどは検索サイトから拾ってきたものは使わない

他の人が作ったものには「他の人が自由に使えない」というルールがあるため勝手に使わないようにしましょう。授業に必要な資料やデータは引用できます。引用したら必ず引用元を書きましょう。待ち受け画面やアイコンは勝手に変えません。

⑩データの根拠があるか確認する

データの根拠や、いつ発信された情報かに注目して、学習の中で判断する力を伸ばしていきましょう。

⑪児童同士のやりとりはしない

ドキュメントやスライドの共有をする時には必ず先生の許可を取り、先生も一緒に共有をしましょう。

⑫生成 AI について

AI（人工知能）は、調べものや相談ができる便利な道具ですが、答えがまちがっていることもあります。まずは自分で考え、AI の答えをうのみにせず、家族や先生と話し合いながら、正しく使っていきましょう。

